

講義科目名称： 基礎看護学実習 I

授業コード： 53202400

英文科目名称： Basic Nursing Practice I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
中馬 成子, 塩野 徳史, 西山 忠博, 吉井 紀子, 田中 亮子 他			
添付ファイル			

科目の概要	本実習の目的は、病院に入院している対象者との関りや、看護援助の見学を通して、看護の基本姿勢を養うことにある。本実習は入学後初めての病院実習であり、看護を学び始めてからの早い時期に病院での実習を行い、看護の役割を理解するとともに、対象者の様子や療養生活の実際を把握して、今後の学習に役立てる。また実際の医療現場を体験することにより、病院の概要（病院の理念、看護の理念、病院の組織等）や特徴、病院における看護の役割を学び、今後看護学の学習を進める上での動機づけとする。
授業の内容	実習内容、実習スケジュール、実習期間、実習病院、ガイダンスの日程および内容については、別に配布する。
学習到達目標	1. 対象者が生活している場の環境（療養環境）が理解できる。 2. 対象者・家族との関わりを通して、看護におけるコミュニケーションの意味と方法を理解できる。 3. 看護援助の見学を通して、看護業務の内容を学び、看護の役割と責務を考えることができる。 4. 実習に主体的に取り組み、学びを深めることができる。
授業の方法	【授業形態】主に実習病院にて実習を行う。 【アクティブラーニングの取り入れ状況】 【ICTを利用した双方向授業】 【その他特記事項】
成績評価の方法	【評価項目】 ①実習目標の到達度、②実習記録の記載、③実習への取り組み状況 ①③を考慮して評価基準により、総合的に評価する。 【割合】 評価点＝①＋②＋③＝100点 ①実習目標の到達度45点、②実習記録の記載30点、③実習への取り組み状況25点
教科書・テキスト	系統的看護学講座 専門分野 I 基礎看護学② 基礎看護技術 I 医学書院 2019 系統的看護学講座 専門分野 I 基礎看護学③ 基礎看護技術 II 医学書院 2017
参考書	必要に応じて提示する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	実習開始までに、解剖生理学、看護学概論、基礎看護援助論 I で学んだ内容を復習し、自己学習しておいてください。
履修上の留意事項	1. 基礎看護学実習 I は実際に治療、または療養している対象者に対して看護援助をしている現場を見て、聞いて、感じて、考える体験的学習になります。ただ見学するだけでなく、看護師がなぜそのような行動をしているのか、看護師の行動の根拠となる思考や判断を自分なりに考えることが重要です。そのためには、事前学習を十分にしておいてください。 2. 「実習目標」をよく理解し、何を学びたいのかを明確にしておいてください。 3. 病院で行う初めての实習です。学生ではあっても医療者の一員であるという自覚をもち、身だしなみ、言動、行動等には十分に配慮してください。
オフィスアワー	西山忠博 中馬成子
課題に対するフィードバックの方法	課題については添削して返却する。
実務経験	看護師